

お歳暮・年末蒲鉾予約開始！



◎潮風セット◎
お歳暮人気一位



★おせちセット★
季節限定200セット

新聞 及善蒲鉾店

11月20日(木)

【発行】
株式会社
及善商店
【編集】
及川善弥・沼倉忠彦

及善蒲鉾店
0220-44-4687
お電話は↑

11月に入り、グッと寒くなりました。南三陸町はもういつ雪が降ってもおかしくありません。はやりもので、今年も残すこと一ヶ月半となりました。

蒲鉾屋は1年を通してこれから繁忙期を迎えるところかほとんどです。弊社も来月に向けて準備が始まっております。

12月20日からはさんざん商店街、登米市工場直売店にて、伊達巻、板蒲鉾、ナルト巻、細工蒲鉾とおせち用の蒲鉾を販売致します。

また、弊社では現在、お歳暮の予約注文を承っております。特に、年末限定の「おせちセット」は数量200セットですので、お早めにお申込みください。

また、弊社ギフトの一番人気は潮風セットです。他種類の商品が楽しめるとてもお買い得のセットです。

お近くの方も遠方の方も、今年のお歳暮は是非、及善の蒲鉾をご活用くださいませ。

美味しい蒲鉾でお正月を迎えてみませんか？



登米市立石ノ森小学校一年生

お店での説明の際、弊社社長の写真をみせて、「この人は誰でしょう？」の答えが、「テレビで見たことある！さんさん商店街にいる人、多分マルセンカロイナルフイツシユの人！」には店内笑いが起きました！また、一般のお客さんも小学生と一緒に説明を聞くなど、楽しい雰囲気で行われました。また、最後に焼きたての蒲鉾をみんなに食べてもらったのですが、一人最後のバスに乗るまでゆつくり食べていたのを見て、「無理をしなくていいからね。」と言ったら、「美味しいすぎてもったいないからゆつくりたべてるの！今度お母さんと来ますね！嬉しいお言葉いただきました。皆さんありがとう！また来てね！」



南三陸町立志津川小学校二年生

お店での説明の際、弊社社長の写真をみせて、「この人は誰でしょう？」の答えが、「テレビで見たことある！さんさん商店街にいる人、多分マルセンカロイナルフイツシユの人！」には店内笑いが起きました！また、一般のお客さんも小学生と一緒に説明を聞くなど、楽しい雰囲気で行われました。また、最後に焼きたての蒲鉾をみんなに食べてもらったのですが、一人最後のバスに乗るまでゆつくり食べていたのを見て、「無理をしなくていいからね。」と言ったら、「美味しいすぎてもったいないからゆつくりたべてるの！今度お母さんと来ますね！嬉しいお言葉いただきました。皆さんありがとう！また来てね！」

今月の工場見学

志津川小学校3年生、石ノ森小学校2年生がそ

れぞれ工場見学の来月、蒲鉾に

宮城大学3学年藤原教授の研究グループが研修にきました。

これからの、中小企業に新しい販売システムをITで確立させるべく立ち上がったプロジェクトチーム。期待しています！宮城大の研究生のみなさん、ご来社ありがとうございました。

社内紹介

製造・販売

鈴木 ゆかり



はじめまして鈴木です。

私は友達と語り合ったり遠出したりするのが好きで、休日は楽しんでいます。

私は及善商店に入社して3年目になりました。入社当時はわからないことだらけで覚えることがいっぱい大変でしたが、いろいろなことを教えてもらい今は少しずつですが体に身につき徐々に成長しつつあります。

仕事にも参画させてもらいましたが最初は戸惑うばかりで周りの人に付いていくのが精一杯でした。私は接客が苦手でしたが今は少し楽しいと思うようになりました。これからいろいろなことを覚えて会社に貢献して行きたいと思います！！



宮城県南三陸町
福興市

今月の福興市
イクラ祭り



宮城大学三年生

KOBE MARATHON
20141123

20年目のありがとう
震災20年目の感謝と友情



日時：11月21・22日(2日間)
場所：神戸国際展示場EXPO会場
時間：10時～19時

笹かまぼこを徹底的に販売致します！

今年も出店
神戸マラソン
2014

現在催事中

時
消市場 仙台市内クリ
ロード) 10時30分～19
時
○12月26日～30日 産地
時30分
R川越駅ルミネ川越店前
10時～20時 最終日17
時30分

催事予定
○12月1日～7日 J
R川越駅ルミネ川越店前
10時～20時 最終日17
時30分

次回の及善新聞は
2015年1月15日
となります。
良いお年をお迎えください。

●西武新宿駅改札前



●酒田どんしゃん祭り



●JRA福島競馬場



催事報告

蒲鉾の歴史

突然ですが、かまぼこの日があることを皆さんは知っていますか？ご存知では無い方がほとんどだと思います。

蒲鉾は1115年に初めて文献にその名前が書かれたことから、11月15日を蒲鉾の日とよんでいます。

蒲鉾は当初、左記のような形をしていました。蒲の穂という植物に似ていることから、がまのほのかまぼこになったと考えられています。

ということ、蒲鉾の歴史はとてとても古いのです。

来年は2015年、ということは、蒲鉾が出来てから来年で900年を迎えることとなります。

日本があるかぎり、蒲鉾は消えないと私は思っております。

一見地味な商品ではありますが、つくり上げるには非常に手間がかかり、魚肉性質をしっかりと理解していないと作ることが出来ません。

日本の伝統文化、蒲鉾。私はこれからも、その技術と科学を練り合わせ美味い蒲鉾、家庭の食卓で愛される蒲鉾づくりを目指します。

及川 善弥



1115年の宴会料理にでた